

次世代につなぐ、 魅力ある業界へ

佐賀県建造物解体業連合会会長 中島 功



新年あけましておめでとう
ございます。

謹んで新春の喜び申し上げます。
平素より本連合会に対しましては、多大なご協力とご支援を頂き、厚くお礼申し上げます。
昨年は、百五十円を超える円安など経済的に不安定な一年ではありましたが、コロナウイルスに対する対策も確立

しつつあり、サッカーワールドカップや大型イベントが、有観客で行われ、活気を取り戻しつつあります。
佐賀県におきましてもSAGA2024国民スポーツ大会へ向け、メイン会場であるSAGAアリーナのオープンを今年に控え、活気づくことと期待しております。
私共連合会も昨年10月、第8回目となるボランティア活動と致しまして、地元の保全会の方々と協力し、須古城堀水草清掃作業を行うことが出来ました。コロナ対策を徹底しながらの大変な作業ではありましたが、地元の方々とお

れあい、有意義な時間を過ごすことが出来たと思っております。
しかし近年、異常気象が世界中で続いており、いつなんどき大規模災害が発生するかわかりません。私共連合会と致しましてもその様な時が来ないことを願いつつ、災害が起きた折にはいち早く現地へ足を運び、被災地での活動に協力して参りたいと考えております。
我々連合会も設立から早くも7年目になります。佐賀県内の解体業界も若手経営者が数多く参入され、業界にとつて大変喜ばしい事と思つてお

ります。
しかしまだまだ解体工事業界は課題が山積みです。その課題一つ一つを改善していくためにも、色々な勉強会や講習会を行い、会員および賛助会員と共に解体工事業界発展に努めて参りたいと思つている所存です。
最後になりますが、令和5年も飛躍の業界へとなりますように、全会員一丸となり、安全、安心の業界造りに取り組んで参りたいと思つております。皆様にとりまして素晴らしい一年となりますように、心から祈念申し上げます。

技能労働者の環境づくり

佐賀県空調衛生工業会会長 土井 敏行



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

昨年は、継続しているコロナ禍の影響に加え国内・国外でガソリン価格をはじめ、建設資材や食品材料などさまざまな価格が高騰し、加えて歴史的な円安状況もありました。専門家によれば、円は半世紀前と同じ水準まで下がっており長期にわたる経済の低迷が、円の力を弱めているとされています。業種によつて

は円安のメリットデメリットがありますが、我々の企業活動にも影響を受けることから経済の動きを注視しているところです。
県内においては、新型コロナ対策の行動制限が緩和され数人での会食が増え、飲食店街にも少しずつ活気が戻つつあります。また、9月に西九州新幹線が開業し近隣駅で賑やかなイベントが行われました。今後、武雄・嬉野地区の地域活性化に繋がりが佐賀県内全体が明るい方向に向かっていくことを期待します。

当工業会の業界団体においては、全国的な会議等はこれまでのリモート会議から3年ぶりに対面による開催になりました。全国から一堂に会し、「空調衛生工事業の独自性の確立」をテーマに業界全体の環境整備が議題に挙がり活発な意見が交わられました。特に建設キャリアアップシステムの登録促進、働き方改革や地方活性化については中央と地方、大手企業と中小企業の取り組みに温度差もあり、それぞれの団体活動の現状を知ることができた貴重な会議になりました。

また、定例となっている国土交通省地方整備局との意見交換会では、九州地区の状況と技術者配置状況や発注希望時期、業務効率化の取組事例などの説明と要望を提出いたしました。数少ない機会ではありますが、会員の声が届くために今後も積極的に関わって参りたいと思っております。
コロナ感染者数が増減を繰り返している中で、経済は持ち直しつつあるとはいえ、資材値上げや物価高で賃金の上昇は望めず、業界の問題点である若手の入職者不足は相変わらずの状況です。技能労働者の適切な環境を作っていくために、国や関連団体の情報を参考にしながら地道に取り組みを進めたいと思っております。

今年はいよいよ5月にSAGAアリーナが完成します。文化会館と繋ぐデッキや外観に特徴あるロゴが浮かび、周辺は躍動的な景色に変わりました。
昨年から子供たちを中心とした完成前の建設現場見学会が行われており、今後は記念となるイベントが多く予定されているとの事で、さらに期待が高まります。
最後に、今後も関係者各位のご指導をお願い申し上げますとともに、今年一年が明るい年でありますよう皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。